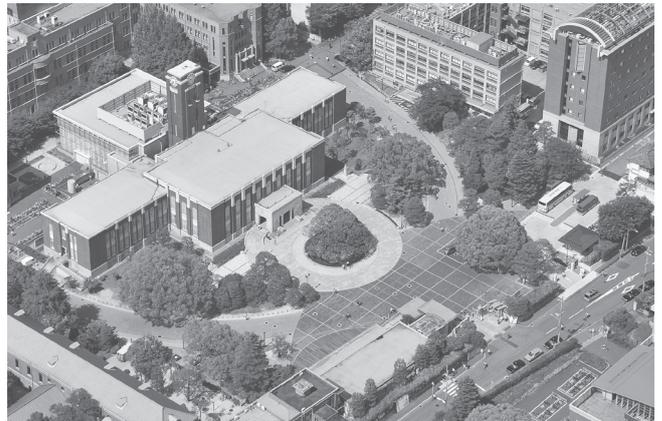


平成22事業年度のトピックス

時計台周辺の環境整備

本学のシンボルである時計台とクスノキの周辺環境を、平成22年11月から23年5月にかけて整備しました。この整備では、クスノキの治療や周辺樹木の剪定・伐採のほか、正門付近の車両進入路の路幅拡張や連絡バスのバスターミナルの新設を行いました。これにより、学生等の通行における安全を確保し、本学のシンボリックなスペースにふさわしい景観に配慮した環境を整えることができ、また、時計台周辺の広場が、学生・教職員等が自由に語らえる明るくオープンな憩いの場として活用できるようになりました。



時計台周辺の風景

iPS細胞研究所開所

平成22年4月1日付けで、物質-細胞統合システム拠点内に設置された iPS細胞研究センターを改組し、「iPS細胞研究所 (CiRA)」を設立しました。初代研究所長には山中伸弥教授(物質-細胞統合システム拠点 教授)が就任しました。

本研究所は、4つの研究部門(初期化機構研究部門・増殖分化機構研究部門・臨床応用研究部門・規制科学部門)で構成し、基礎研究から前臨床研究・臨床研究へ、シームレスに研究を推進しています。



iPS細胞研究所 開所記念式典

「オープンコースウェア(OCW)」による講義教材等の公開

学内で実際に利用している講義教材等をインターネットで公開するプロジェクトである「オープンコースウェア(OCW)」において、さまざまな講義の全容を紹介するために、全部局約1万2千講義分のシラバス(講義概要)を公開しました。

OCWでは、学生、教職員、他大学の学生、関連学会の研究者、本学を志願する高校生、さらなる学習を志す社会人など、あらゆる方々に本学の講義内容を紹介し、学習の門戸を広げることを目的としています。平成23年3月末現在で、1,967の講義教材(うち英語等多言語による講義教材は366)を公開し、年間アクセス数が84万アクセス(30分以上サイトに滞在)を超えています。

(京都大学OCW URL:<http://ocw.kyoto-u.ac.jp/>)



「2011年度 京都大学OCW パンフレット」より

「京大生がつくるキャンパスマップ『Welcome!京大』」を発行

大学生活にあこがれてキャンパスを訪れる中高生に向けてキャンパス案内冊子を作成しました。

この冊子は9名の現役学生が「初めて京都大学を訪れる人たちにも、キャンパスでの学生生活の魅力を感じてもらいたい」との思いを込めて企画・編集したものです。

学生の口コミによるお勧めスポットを掲載するなど、中高生のみなさまにキャンパスでの学生生活の雰囲気をイメージしてもらえる内容となっています。

見学や修学旅行、イベント参加などでキャンパスを訪れた方にもご利用いただければと思っています。

<入手方法等は下記URLからご覧ください>

URL: <http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/wel.htm>



「京大生がつくるキャンパスマップ『Welcome!京大』」より

新たな拠点の整備

○「次世代低炭素ナノデバイス創製ハブ拠点」

文部科学省の平成21年度第2次補正予算において、「成長戦略への布石」である「環境・エネルギー技術への挑戦」の一環として設立された「低炭素社会構築に向けた研究基盤ネットワーク整備事業」における、微細加工・試作を担う「次世代低炭素ナノデバイス創製ハブ拠点」を開設しました。

ウェハスケールで多種基板材料・薄膜材料をナノマイクロ加工できる装置環境を学内外の研究者や学生に提供し、低炭素化を早期に実現する学術研究・応用研究・開発研究と学から産業界への技術移転等に寄与しています。

○「宇治地区先端イノベーション拠点施設」

環境・エネルギー分野における世界トップレベルの産官学連携共同研究を推進する開発拠点として「宇治地区先端イノベーション拠点施設」が平成23年3月に竣工しました。この施設は、経済産業省の平成20年度産業技術研究開発施設整備費補助金の支援を受けて建設したものです。

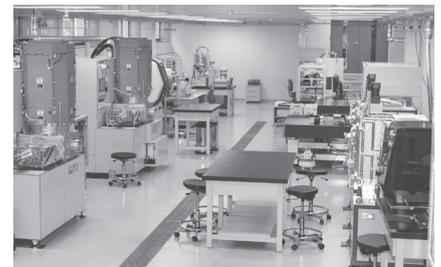
施設にはオールジャパン体制で臨む「革新型蓄電池先端科学基礎研究拠点プロジェクト」のほか、次世代太陽電池、電磁環境生命科学、水化学エネルギーなどの共同研究プロジェクトが入居し、研究を進めています。

○「先端医療機器開発・臨床研究センター」

医療機器の臨床研究から薬事申請までの一連の流れを迅速かつ適正に実施し、臨床研究に重点的に取り組む本格的な産学連携拠点として、「先端医療機器開発・臨床研究センター」が平成23年5月に竣工しました。この施設は、経済産業省の平成21年度産業技術研究開発施設整備費補助金およびキャンノン株式会社からの寄附により建設したものです。



低炭素社会の実現サイクル



次世代低炭素ナノデバイス創製ハブ拠点 加工・評価室



宇治地区先端イノベーション拠点施設外観

重点事業経費について

各種戦略的経費

本学では、教育・研究・医療活動の個性化と活性化のために戦略的・重点的に配分する経費を充実させ、総長および役員会のイニシアティブと責任によって特定課題の活動ならびにそれらを支える基盤体制に重点的に予算を配分しています。



小中高大連携推進事業～サイエンス・コミュニケーター・プロジェクト～
(教育推進事業)による「出前授業」の様子

平成23年度 各種戦略的経費

全学経費	全学共通経費	本学の教育研究医療活動を一層発展させるため、大学として支援が必要な事業に措置するための経費
	特別協力経費	各部局等の教育研究医療活動を一層発展させるため、大学としての協力を必要とする事業に措置するための経費
	設備整備経費	各部局における教育研究医療活動全般に対する設備(概ね1億円以下)を整備するための経費
戦略的・重点的経費	総長裁量経費	総長のリーダーシップにより教育研究の一層の充実発展を図るための経費
	重点戦略経費	第二期重点事業実施計画 教育研究及び医療の質の向上並びに組織運営の改善に充てる第二期重点事業実施計画実現のための経費
	第一期からの繰越積立金(目的積立金)	
	各所建物修繕経費	教育・研究・医療活動の基盤である施設等を、長期にわたり良好な状態で維持管理するため、修繕等を計画的かつ効率的に実施するための経費
	部局運営活性化経費	大学全体の重点課題の克服に向け部局が行う積極的な取り組みや、教育研究力の向上を目指し、学術情勢や社会情勢を踏まえた大学改革を実現するための取り組みなどを促進するために、インセンティブを付与する経費
	産官学連携推進経費	産官学連携の推進に向けた取り組みを支援するための経費
	基盤強化経費	全学機構や全学施設の業務を適正かつ機動的に実施するため、運営等に必要経費 教育研究活動の基盤となる共同利用設備等を支障なく稼働させるために必要な維持管理経費
	学内貸付金	部局において、資金調達が困難な施設・設備の整備等のために、一時的に多額の資金を必要とする事業計画を支援するための資金

京都大学第二期重点事業実施計画

第2期中期目標期間(平成22～27年度)において、中・長期的および全学的視点から大学を運営するため、「京都大学第二期重点事業実施計画」を策定しました。本計画では、独自の授業料免除による経済的支援、次世代を担う若手研究者の育成支援、若手研究者による小中高校での出前授業、桂キャンパスの整備、国際化事業の更なる推進、女性研究者の採用促進の支援、京都大学ブランドの構築に向けた新しい情報発信の展開など、様々な事業に取り組んでいく予定です。

京都大学第二期重点事業実施計画 【平成22～23年度着手決定事業】

教育推進事業	オープンコースウェア(OCW)支援事業 教育国際化推進事業 教育環境改善事業 小中高大連携推進事業 ～サイエンス・コミュニケーター・プロジェクト～(掲掲写真)	広報・社会連携事業	全学同窓会支援事業 戦略的情報発信強化事業 ～京都大学ブランドの構築にむけて～ 名勝清風荘庭園の保存・活用整備事業
研究推進事業	研究推進戦略活性化事業 若手研究者支援事業 女性研究者養成事業 シニア・コア研究者フォローアップ事業 京都大学次世代研究者育成支援事業～白眉プロジェクト～ 世界トップレベル研究拠点融合研究加速支援事業 研究支援体制強化プロジェクト 国際化戦略推進事業	基盤整備事業等	事務改革推進事業 男女共同参画推進事業 楽友会館等再生事業 職員宿舎整備事業(第2次) 環境マネジメントシステム推進事業 ～環境賦課金制度を中心とした環境負荷の低減～ 桂キャンパス整備事業 旧演習林事務室全学共用化整備事業 吉田南構内再生整備事業～国際交流拠点施設の整備～ 時計台周辺環境整備事業
学生支援事業	キャリア支援充実化事業 経済的支援強化事業 身体障害学生支援強化事業 吉田南構内再生整備事業～学生寄宿舎の整備～		